



プレスリリース  
2018年1月31日

## 第7回フレンチ ビジネス大賞 2018 発表

第7回フレンチ ビジネス大賞は、日仏ビジネスコミュニティのダイナミズムを新たに確認する機会となりました。幅広い分野で活躍している、在日フランス商工会議所の会員企業らの優れた活動を称え、受賞企業を表彰致しました。

在日フランス商工会議所(CCI France Japon) (所在地：東京都千代田区、会頭：ベルナール・デルマス) は、2018年1月31日、新年会開催に併せ開催した、第7回「フレンチ ビジネス大賞」表彰式にて、20のノミネート企業から、次の7つの企業の授賞を発表致しました。

**カンパニー・オブ・ザ・イヤー2018**：ヴァレオ トランスミッション ジャパン株式会社  
**審査員特別賞 2018**：アクアビットスパイラルズ  
**ベスト中小企業(SME)賞 2018**：WEARE PACIFIC 株式会社  
**ベスト CSR 賞 2018**：小田急電鉄株式会社  
**ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー 2018**：フォルシア・ジャパン 株式会社  
**フレンチテック東京賞 2018**：ファイナルキヤド  
**イノベーション賞 2018**：エルピクセル株式会社

在日フランス商工会議所会頭、企業の代表者、オピニオンリーダー、ジャーナリスト、在日フランス商工会議所理事からなる審査委員が審査を行いました。ダイナミックに活躍をしている企業を、イノベティブ、そして日本市場でのビジネスの実現、ビジネス目標達成への試み、そして企業倫理といった観点から審査致しました。

今年度の20のノミネート企業の特徴は、例年に増して、自動車、技術、化粧品、サービス等、幅広い分野で活躍する日仏の企業が名を連ねていることです。

フレンチ ビジネス大賞 2018 は、在日フランス商工会議所創立 100 周年記念イヤーの幕開けを祝う、大切なイベントとなります。在日フランス商工会議所は、日本とフランスの会員企業、パートナー団体と共にこの 100 年の歴史の歩みを振り返ると共に、更なる飛躍に向け様々な記念イベントを、1年を通じ開催予定です。

**カンパニー・オブ・ザ・イヤー2018: ヴアレオ ジャパン株式会社 (ヴァレオ トランスミッション ジャパン株式会社)**

(ヴァレオ ジャパン株式会社 代表取締役社長、アリ・オードバディ、ヴァレオ トランスミッション ジャパン株式会社 代表取締役社長、ドウニ・フランシヨ)

ヴァレオグループの自動車サプライヤーメンバーであり、日本の自動車メーカーと提携しています。テクノロジー企業として、特に CO2 排出削減に重点を置いて革新的なソリューションを設計しています。

ヴァレオトランスミッションジャパン株式会社は、自社の開発センターと工場を厚木市に置き、日産自動車、SUBARU、JATCO 等の主要な日本のメーカーのトランスミッションシステム (トルクコンバーター) の設計及び製造に特化しています。トルクコンバーターは、エンジンのトルクとトランスミッションに位置し、自動変速機と CVT に使用される油圧システムです。

**審査員特別賞 2018: アクアビットスパイラルズ**  
(グローバル ビジネス デベロップメント、山本 航佑)

AQUABIT SPIRALS 特許技術を用いて独自に開発した「スマートプレート」で、リアルな生活空間と既存の豊富なオンラインコンテンツをダイレクトにつなぎ、検索することなくモノや場所がネットの情報と直接つながる「Connected Life」を実現します。スマートプレートを利用することで、エンドユーザーは、その場所やモノにスマホをかざすだけで、瞬時に関連情報を取得することができます。配信されるコンテンツは、すべてクラウドで遠隔管理が行え、利用状況もリアルタイムで確認できます。専用アプリのインストールやバッテリーが不要なスマートプレートは、コンテンツやサービスの入り口に最適で、都市情報配信インフラとして機能しうるポテンシャルを持っています。

**ベスト中小企業(SME)賞 2018: WEARE PACIFIC 株式会社**  
(セールス オペレーション: ライアン・フィゲロア)

精密機械加工、旋盤、熱処理、表面処理、組立、3D 積層造形の技術を有するフランスのオーナー企業によって設立された部品製造会社です。航空宇宙、防衛、自動車、医療、エネルギー産業向けに一貫製造・供給体制を構築しています。2017 年、このグループは、本社を日本に位置付ける「WEARE Pacific 株式会社」を新設し事業を拡大します。共同出資会社は、名古屋市に所在する株式会社山一ハガネであり、同社とは 2016 年に 3D 積層造形のプリズマット・ジャパン株式会社を設立済みで、日仏連合での更なる強化を目指しています。

**ベスト CSR 賞 2018: 小田急電鉄株式会社**  
(CSR・広報部長、相沢 喜一郎)

東京 新宿駅から神奈川県の小田原駅を結ぶ小田急小田原線を中心に、途中、新百合ヶ丘駅から分岐する多摩線、相模大野駅を分岐して片瀬江ノ島間駅を結ぶ江ノ島線、3 路線計 120.5 キロの鉄道路線を有しています。東京都新宿区や渋谷区など 27 の市区町村がある沿線の人口は、509 万人です。郊外から沿線内や都心への通勤・通学客を中心に、鉄道の年間輸送人員は 7497 百万人です。また、商業やオフィスなどの不動産賃貸業も幅広く展開しており、総賃貸面積は 949.1 千㎡になります。

在日フランス商工会議所

英語・仏語: ペリーヌ・ルック : p.loock@ccifj.or.jp - 03-3288-9630

日本語: 森山徹 : t.moriyama@ccifj.or.jp - 03-3288-9633

Fax: 03-3288-9390



小田急線の起点となる新宿は、日本最大のターミナルで、大型デパート等が立ち並ぶ商業集積エリアで、副都心といわれるビジネスエリアでもあると共に、食やエンターテイメントも充実し、多様な魅力を持っています。そして、終点の小田原は伝統ある城下町で、世界的観光地の箱根の玄関口として賑わっています。また、江の島は、日本のモンサンミッシェルともいわれる景観が特徴の美しい島で、東京からの日帰り観光やマリンスポーツで人気を誇っています。2016 昨年 4 月に、小田原線開業から 90 周年を迎えました。沿線の発展とともに、鉄道を中心とした交通事業、不動産事業、百貨店、スーパーマーケットなどの流通事業、ホテル、レストラン事業などの多角的なグループ事業を展開し、成長を遂げてきました。これからも「日本一暮らしやすい沿線」、「選ばれる沿線」を目指していきます。



**ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー 2018: フォルシア・ジャパン 株式会社**  
(代表取締役社長、オリヴィエ・フィドリ)

当社のインストルメントパネルや、セントラルコンソールが搭載された新インフィニティ SUV QX50 が、昨年 12 月に日産自動車から正式発表されました。今までにない最新の技術やイノベーションをご提供し、cut&sew、本杢目加飾、本アルミ加飾など、細部に亘って高品質な仕上がりを実現致しました。日産自動車が、初めて系列会社以外の企業をサプライアとして採用した事もさることながら、プレミアムブランドであるインフィニティを任せて頂く事に対し、ドイツの高級ブランド車に立ち向かう熱意を持って、日産自動車デザイン部門、インフィニティエンジニアリング、RNPO 経営陣の皆様の支えを頂きながら、一丸となってプロジェクトを完了致しました。開発と試作の全行程を国内で行った事はもとより、メルセデスベンツと同等のテクノロジーを採用する事も初めての取り組みです。

**FINALCAD フレンテック東京賞 2018: ファイナルキャド**  
(マネージング ディレクター、パティスト・ジョアヨ)

工事を請け負う建設会社に、モバイル端末アプリケーションと予測解析を提供し、建設現場での作業工程で発生する不具合や是正項目を、容易に見つけ・解決できる仕組みを提供します。ファイナルキャドのミッションは、「品質の向上、無駄な経費の削減、そして、すべての人が共有できるようにすること」です。2011 年以降、ファイナルキャドは、延べ 35 ヶ国において 15,000 以上のプロジェクト導入実績があり、現在も建設現場へのデジタル化支援を行っています。



**イノベーション賞 2018: エルピクセル株式会社**  
(研究事業本部ジェネラルマネージャー、渋谷 純一)

医療・製薬・農業などのライフサイエンス研究領域の画像解析システムの研究開発に強みを持つ、東京大学発のベンチャー企業です。ライフサイエンス領域の知識と、イメージングの技術の双方の領域に精通しており、ImPACT (内閣府)、CREST (JST)、戦略的基盤技術高度化支援事業 (経済産業省) 等、3 つの国家プロジェクトにも参画し、大学の研究室のような面も併せ持っています。自社製品、研究開発として、独自の人工知能アルゴリズムを活用した医療画像診断支援技術「EIRL (エイル)」、ライフサイエンス研究者向け画像解析プラットフォーム「IMACEL (イマセル)」の開発などに注力しています。



## フレンチ ビジネス 大賞について

エントリー資格：在日フランス商工会議所の会員企業であること。

(※フレンチテック東京賞 2018 は非会員でも参加できます。)

2017 年の企業活動で顕著な業績があった、もしくは優れた社会貢献をおこなったものに与えられる。

本大賞では以下の 7 つの賞を設けました。

- カンパニー・オブ・ザ・イヤー：活動の成果が最も評価された在日企業
- 審査員特別賞：審査員が優れた功績を特に認めた企業。(全ノミネート企業から選考)
- ベスト中小企業(SME) 賞：優れた功績を収めた中小企業  
(SME とは、スモール&ミッドサイズ エンタープライズ (中小企業) の略)
- ベスト CSR 賞：社会活動と環境活動の優れた企業
- ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー：最もイノベーション、独自性、発展性あふれる、日本市場で優れた成果を達成した製品またはサービス
- フレンチテック東京賞：実現性があり、日本でのビジネス拡大を目指す独自のプロジェクトを持つデジタル、イノベーション分野で活躍するスタートアップ企業
- イノベーション賞：最もイノベティブな企業、または中小企業 (R&D、革新的な製品またはサービス、ニッチマーケットにおけるリーディング企業等)

## フレンチ ビジネス大賞 審査員

審査員は以下の 5 名です。

- ベルナール・デルマス、在日フランス商工会議所会頭、日本ミシュランタイヤ株式会社 代表取締役会長
- 田中 智子、シニアマネージャー、オレンジ・ジャパン 株式会社
- 中島 厚志、独立行政法人 経済産業研究所 理事長
- ヤン・ルソー、フランス経済紙「レ・ゼコー」東京特派員
- アルメル・カイエール、在日フランス商工会議所理事、B4F (ミレポルテ) 代表取締役



## 2018年在日フランス商工会議所 第7回「フレンチ ビジネス大賞」 ノミネート企業20社

※英語の提出書類にて審査を行いました。

### カンパニー・オブ・ザ・イヤー（ノミネート企業：5社）

- クレダジ ジャパン株式会社
- 株式会社ニナファームジャポン
- プジョー・シトロエン・ジャポン株式会社
- ヴアレオ トランスミッション ジャパン株式会社
- WEARE PACIFIC 株式会社

### ベストプロダクト・サービス・オブ・ザ・イヤー（ノミネート企業：3社）

- 昭島化学工業株式会社
- フォルシア・ジャパン 株式会社
- 川崎機械工業 株式会社

### ベストCSR賞（ノミネート企業：4社）

- アルタヴィア・ジャパン株式会社
- JK ホールディングス株式会社
- 小田急電鉄株式会社
- サッポロホールディング株式会社

### フレンチテック東京賞2018（ノミネート企業：8社）

- アクアビットスパイラルズ
- ファイナルキャド
- 株式会社 ikkai
- インスティテューション フォー ア グローバル ソサイエティ株式会社
- エルピクセル株式会社
- ネクストレベルジャパン株式会社
- セキュア-アイシー 株式会社
- ウィノテック株式会社

### 在日フランス商工会議所(CCI France Japon)について

在日フランス商工会議所は、1918年設立、最も歴史ある在日外国商工会議所として活動しています。2018年、創立100周年を迎えます。日仏ビジネスコミュニティの中心的役割を果たすとともに、インターナショナルビジネスの発展に向け貢献をしています。在日ヨーロッパ商工会議所として最大規模で、590会員が登録しています。在日企業会員、海外企業会員、在日個人会員からなり、フランス企業の割合は在日企業会員の約60%、日本企業の割合は在日企業会員の約30%、約10%はその他の外資系企業です。

年間100回以上のイベント（経済動向、ビジネスをテーマに取り上げたパネルディスカッション、セミナー、イベントが中心）を企画開催しています。日仏双方向の市場進出のお手伝いとなる企業支援活動（ビジネスパートナー、商談、見本市等、要望にあったビジネスサポート）を行っています。企業向けの雇用のお手伝い、人材開発セミナーの開催をしています。情報収集に役立つ日仏の文化・ビジネス情報をタイムリーに発信するため、ニュースレター、機関誌を発行しています。在外フランス商工会議所連合会（CCI France International）ネットワーク（世界90ヶ国）の傘下にあり、世界各国のフランス商工会議所（120商工会議所、30000企業が登録）の中でも特に活発に活動しています。また、欧州ビジネス協会（EBC）でも、中心的な役割を果たしています。

### 在日フランス商工会議所

英語・仏語：ペリーヌ・ルック : p.loock@ccifj.or.jp - 03-3288-9630

日本語：森山徹 : t.moriyama@ccifj.or.jp - 03-3288-9633

Fax: 03-3288-9390